講義名	公共経営論					授業形態	
担当教員	植松　宏之	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	３年生	ナンバリング	

主題と概要

近年、成長社会から成熟社会への移行、政府財政の逼迫などを背景として、行政の効果的・効率的な運営が求められており、公共サービス分野への民間経営手法の導入が拡がっている。そこで本講義では、まず「公共」とは何かを考え、『公共と私』の捉え方、公共の多様性、地域社会における公共の成立条件を理解するとともに、「公共の組織」と「公共のための組織」との組織論的な捉え方の違い、「政府」・「私企業」・「第３セクター」というそれぞれの組織の役割、効用と限界についても基本的な理解を深める。次に、「ガバナンス論」観点からの公共経営のあり方についての基本的理解を深める。具体的には、「ガバナンス」の概念と急義、ガバナンスの変容、拡張、曖昧化、そして私的政府の形成と組織間関係（パートナーシップ、ネットワーク、コラボレーション）について解説する。

到達目標

①「公共」とは何かを考え、『公共と私』の捉え方、公共の多様性などを理解できるようになる。
②「公共の組織」と公共経営のあり方を理解できるようになる。
③「NPO」や「NPM(New Public Management)」といった新しいマネジメント方法を理解できるようになる。

提出課題

授業で取上げた主題に関して、それぞれの理解度確認のための課題演習（レポート）を予定している。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題演習（レポート）については、授業の中で解説を行い、更なる理解を深める。

評価の基準

平常点40%（講義内で示した演習課題やレポートへの取組みの評点）、試験60%（確認テスト（２回分）など）

履修にあたっての注意・助言他

参考テキストやプリントに従っての連続的な積み上げ授業であるので、毎回講義の受講に注力すること。
なお、定期試験は実施しません。
講義の前にポータルで講義資料を配信します。講義の際、資料の配布はしません。
各自で印刷するなど、事前に準備をしてください。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.公共経営論.	田尾雅夫	木鐸社	4500	4833224240

その他

授業計画

1　公共と公共の組織：「公共とは何か」
2　公共と公共の組織：「公共」の組織・政府という組織
3　公共と公共の組織：公共の組織と経営：第３セクター
4　ガバナンス(統治)：「ガバナンス」の概念と意義
5　ガバナンス(統治)：ガバナンスの変容、拡張、曖昧化
6　ガバナンス(統治)：私的政府の形成と組織間関係：パートナーシップ、ネットワーク、コラボレーション
7　ガバナンス(統治)：ローカル・ガバナンスと公共性概念の再構築
8　前半部のまとめと確認テスト
9　公共サービス：公共サービスとは何か、サービス提供の仕組み
10　公共サービス：発総のためのツール革新、そして適正な運用
11　NPO論（その１）：公共性とボランティア活動の生成、NPOの一般的特性
12　NPO論（その２）：企業間、企業とNPO、行政とNPOにおけるパートナーシップ
13　ニュー・パブリックマネジメント(NPM)　（その１）:理念・ビジョン・戦略
14　ニュー・パブリックマネジメント(NPM)　（その２）:補論
15　後半部のまとめと確認テスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

『公共経営』の言葉は、普段聞き慣れていないと思うが、日常生活で行われているものである。
毎回の講義につき４時間程度、学習した知識を日常生活に照らしあて、行政、企業、NPO等がどのような活動をしているかを関心をもって見ることにより、講義内容の理解を深めることを期待する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

経済学科共通のディプロマ・ポリシーは「人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身に着け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができる。」です。
この授業では、公共（行政）、企業（民間）、NPO等（中間組織）が協力して、現代社会の複雑な課題を成し遂げる方法等を学習する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。梅田地区において、中間組織の代表理事を務めており、現場の実務について解説をする。

備考